

令和8年滝沢市議会3月会議

市長施政方針

滝沢市

本日ここに、令和8年滝沢市議会3月会議が開催されるに当たり、令和8年度の市政運営について、所信の一端を申し上げ、市民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、自治体を取り巻く環境は急速な人口減少、少子高齢化、物価や人件費の高騰などにより、年々厳しさを増しています。特に出生数の減少や若い世代の転出については、本市の地域コミュニティや市民サービスに大きな影響を及ぼすことが想定され、非常に憂慮すべき事態と捉えています。

このような状況を踏まえつつ、第2次滝沢市総合計画前期基本計画4年間の3年目に当たる令和8年度は、これまでの取組を振り返りながら前期基本計画に掲げる「**市民主体の地域づくり活動への支援と市民生活基盤の堅持**」の実現に向けて、同基本計画における5つの重要な視点を踏まえ、限られた財源と人的資源を効果的に活用し、市民の皆様「まちの変化」を「実感」してもらうための重要な年となります。

まず、「**つながる滝沢**」につきましては、市民の皆様との「かかわり」や「つながり」を深めることが最も重要と考えております。そのため、これからも市民と「かしこまらずに対話」するとともに、自治会を始めとする地域の負担軽減と併せて地域の担い手育成にも取り組みながら、住民協働の再構築を図り、地域の課題を市民の皆様と共に考え、解決していく取組を推進してまいります。

次に、「**こどもまんなか滝沢**」につきましては、未来を担う子どもたちがいきいきと過ごせるよう保育環境や教育環境を充実させ、子どもや子育て世代が安心して暮らせるよう各種支援を強化してまいります。また、子

ども施策を総合的に推進するため「滝沢市こども計画」の策定に取り組んでまいります。

次に、「いきいき滝沢」につきましては、本市の強みである大学との連携をさらに強化し、地域課題の解決や市民サービスに直接寄与する取組を検討し、子どもから高齢者までいきいきと暮らせる環境づくりを推進してまいります。

次に、「まなぶ滝沢」につきましては、大学を始めとする高等教育機関との連携によって、市民の知りたい、学びたいというニーズに応える「リカレント教育」の取組を推進してまいります。

次に、「はたらく滝沢」につきましては、産学官連携による新たな産業の創出を通じた雇用の場の確保などに継続して取り組むことで、市民の生活を支え、このまちで暮らし続けたいと思えるような基盤づくりを推進してまいります。

また、これらの取組を進め、質の高い行政サービスを提供し続けるためには、デジタル技術の活用による事務の効率化を図るとともに、職員が自らの仕事に誇りとやりがいを感じ、主体的に判断し行動する組織風土の醸成に努めながら、市民サービスの向上や市民全体の利益につなげてまいります。

令和8年度は、以上の点を重視し、人口減少社会においても「選ばれ、住み続けられる自治体」であり続けるため、第2次滝沢市総合計画前期基本計画における各政策、施策の目標を達成できるよう、それぞれの取組をより一層加速させるとともに、次の計画を見据えて、市民の皆様と対話を重ねながら、これからの地域の在り方・地域づくりについて、全市的に考える取組を進めてまいります。

続きまして、**令和8年度の当初予算について**であります。物価高騰等の影響で様々な経費が^{ぞうすう}増嵩する中、中長期的な政策の実現や市の諸課題の解決に向けて、国や県の動向を踏まえながら適切に財源を確保し、市民の安全・安心のための事業を堅持しつつ、事業の実施期間や優先度の精査を図り、未来につながる事業も見据えて予算を編成したところであります。

中でも、第2次滝沢市総合計画で目指す「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向け、重要な5つの視点に基づく方針の^{もと}下、政策や事業を展開するための予算を計上しております。

その結果、一般会計、特別会計及び企業会計の予算の総額は、約375億9,813万円となり、前年度比較で約22億34万円、6.2%の増加となっております。このうち、一般会計は、過去最大の240億円となり、前年度比較で17億4,800万円、7.9%の増加となっております。

次に、**今後の財政の見通しについて**であります。近年の物価高騰が財政運営に及ぼす影響は大きく、令和6年度決算においては、財政調整基金の積立額を取崩額が約3.5億円上回り、実質単年度収支額が約2億円の赤字となるなど、厳しい財政運営となっております。そのような中、中長期的には老朽化した公共施設の大規模改修やごみ処理広域化に伴う負担金等、多額の支出が見込まれていることから、今後も当初予算編成時点における歳出超過の状態は続くものと見込んでおります。そのため、事務事業や施設数の見直しなど、財政運営の一層の効率化が不可欠であると考えております。こうしたことを見据え、令和7年度から全庁の事務事業の点検を進めておりますが、令和8年度はこれをさらに加速させ、行政サービスの受益と負担の

バランスに配慮しつつ、限られた財源の中、市民の皆様にとって必要な事業を安定的に実施できるよう取り組んでまいります。

続きまして、**市域全体計画の部門ごとの主な取組や新たな取組**について申し上げます。

まず、市民環境部門が目指す、「**やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い行動するまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、自らが暮らす地域をより良くするため、市民主体の地域活動を推進するとともに、市民が支え合い自然や資源を大切に、安全で安心して暮らせる地域を目指すものであります。

また、住民情報を適正に取り扱い、正確かつ迅速な窓口対応に取り組むものであります。

市民環境部門における令和8年度の主な取組であります、**地域づくり活動の支援**について、自治会活動の負担軽減のため、市から自治会への依頼業務の見直しを図ってまいります。また、多様な生き方を尊重する社会の実現を目指し、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入してまいります。

次に、**安全・安心なまちづくり**について、関係機関や団体との連携を強化するとともに、市防災マップの更新と全戸配布を行い、災害発生時における避難体制の強化を推進してまいります。また、多様化する災害等において機能する消防防災拠点として、滝沢消防署新庁舎建設に向け取り組んでまいります。

次に、**再生可能エネルギー**について、化石燃料に依存せず、太陽光発電や小水力発電などの自然エネルギーを活用した脱炭素社会を目指していくた

め、他自治体における先進的な取組事例の収集等を行い、調査研究を進めてまいります。

次に、健康こども部門が目指す、「**こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、市民が心身の健康を保持し、安心して生活を送ることができるよう、市民の行動変容を促すとともに、未来を担う子どもの健やかな成長と地域全体で子育てを支えるための取組を推進するものであります。

健康こども部門における令和8年度の主な取組であります。市民の健康づくりについて、運動習慣を身に付けるためのきっかけづくりを進めます。また、地域医療体制を適正に維持するため、医療機関との連携を図ってまいります。

次に、子育て環境について、全ての子どもの育ちを応援するため、こども誰でも通園制度の開始など、多様で質の高い育ちの環境の提供に取り組んでまいります。また、放課後の子どもの居場所については、放課後児童クラブの環境改善を図るほか、ニーズに対応できるよう地域資源を活用した場の検討を進め、安心して子育てができる社会環境づくりを推進してまいります。

次に、子育て世帯に対する包括的な支援について、子育てに関する情報の提供や家事・養育に関する援助、親子間の適切な関係性の構築を目的とした教室や各相談機会などを通じて、子育て支援を推進してまいります。また、子どもの発達支援については、言語・作業療法などの各専門分野や大学等と連携し、子どもの育ちを支えるための体制整備を図ってまいります。

次に、**社会保険制度の推進について**、生涯を通じて安心して暮らせるように、健康保険と国民年金の適切な運営に努めるとともに、子ども医療費給付事業の拡充による子育て支援の充実を図ってまいります。

次に、福祉部門が目指す、「**誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、人々の暮らしや地域の在り方が多様化している中、介護、障がい、子ども、生活困窮などの分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越えた支援や参加など、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、包括的相談支援と支え合う地域づくりを推進してまいります。

福祉部門における令和8年度の主な取組であります。 **重層的支援体制の整備について**、市民が抱える複雑化・複合化した課題に対し、年齢や障がいの有無にかかわらず包括的な支援を行い、安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。

次に、**生活困窮者に対する支援について**、最低限の生活の保障と自立を助長する生活保護制度及び生活保護に至る前に支援をする生活困窮者自立支援制度を実施することで、生活困窮者への支援を行ってまいります。

次に、**高齢者に対する支援について**、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう相談支援体制の充実を図り、医療と介護の関係機関との連携や認知症施策を推進してまいります。

また、新たに認知症施策推進計画を盛り込んだ高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画を策定し、介護保険制度を適正に運用し、自分らしく暮らせる長寿社会の実現を目指してまいります。

次に、経済産業部門が目指す、「**様々な産業の活性化が繋がり広がるまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、産業に関わる方々が活動しやすい環境を作ることで、産業の活性化につながる取組を促進し、さらにこれら取組を連携させることで分野を超える大きな産業の活性化を推進するものがあります。

経済産業部門における令和8年度の主な取組ではありますが、**観光及び物産振興について**、本市の地域資源としての自然景観や、チャグチャグ馬コに代表される郷土の伝統文化を組み合わせたアドベンチャートラベルの推進を通じ、伝統文化の振興と観光振興を図り、交流人口の増加を目指してまいります。物産振興では、地域の魅力ある特産品の開発について市内事業者を支援するほか、一般社団法人滝沢市観光物産協会等の関係団体と連携し、ふるさと納税返礼品に地域産品を活用し、返礼品の充実を図るなどの取組を推進してまいります。また、地域の雇用情報と市内事業者の求人支援などにより市内事業者の雇用の確保に努め、地域経済の発展と地域の潤いにつながる事業を推進してまいります。

次に、**地域産業の活性化について**、本市の特色を活かし、ICT関連産業の集積を図るため、滝沢市IPUイノベーションパークの拡張事業の推進に併せて、岩手県立大学の「企業学群構想」による新たな産学官連携のモデル構築の取組を推進し、整備後の企業誘致に向け、多様な企業との交流・情報交換等を行う機会を創出してまいります。また、市内事業者の事業効率化等の支援、ITスキル習得等を始めとする体験事業の実施による産業人材の育成の取組により、市内商工業の活性化に向けた環境づくりを推進して

まいります。

次に、**若者と連携した取組について**、市内に2つの大学が立地する強みを活かし、大学や学生との連携強化を図り学生の取組を推進するとともに、若者にとって「自分の望む生き方ができる環境」の実現に向け、若者の柔軟な発想による社会活動へのチャレンジ、交流や体験の機会の創出により、若者が活躍できる風土の醸成を図ってまいります。

次に、**農業振興について**、持続可能な農業を実現するため、市内9地区で策定した「地域計画」の実践に向けた取組を支援するとともに、環境負荷の低減を図る取組や、気候変動に適応する対応品種・品目への転換について、農業者や関係機関と意見交換を行いながら、どのような取組ができるのか、多角的な視点から検討してまいります。

次に、**林業振興について**、森林環境譲与税を活用して森林整備を促進するとともに、森林が持つ多様な機能の発揮に寄与できるよう取り組んでまいります。

次に、都市基盤部門が目指す、「**ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、市民生活の基盤となる施設の整備・維持管理等に計画的に取り組めます。また、市民の理解と共感を得られるよう情報発信に取り組むほか、市民が主体となり得る活動を支援し、事業の持続性の確保に向けた活動環境づくりを推進するものであります。

都市基盤部門における令和8年度の主な取組であります。 **人が集う中心地としての拠点形成の推進について**、新たな商業施設の整備による賑わいや雇用を創出するため、開発事業者や関係機関との連携調整により、魅力

ある中心拠点の整備を推進してまいります。

次に、**市民の日常生活に必要な移動手段の確保について**、交通弱者対策として新たなコミュニティバスの運行に取り組むとともに、公共交通の維持及び利用促進に係る施策を推進してまいります。

次に、**幹線市道の整備と適正な維持管理について**、安全で円滑な道路環境の確保や防災・減災に寄与する道路の構築を進めるとともに、歩行者空間の確保も含めた幹線市道の整備を図ってまいります。また、道路施設の計画的な老朽化対策と市民との協働により適正な維持管理を行い、道路の長寿命化に取り組んでまいります。

次に、**河川の改修について**、財源を確保し事前防災対策として計画的に推進することにより、安全・安心に暮らせる生活環境を整えてまいります。

次に、**公園の改修と維持管理について**、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改修を進めるとともに、市民の理解と協力を得ながら、適正な維持管理を進めてまいります。

次に、**上下水道事業経営について**、財政の健全化を図るため、水道料金及び下水道使用料の見直しや効率的な事業運営による収益の確保に取り組んでまいります。また、市民の参画意識を高めるため、分かりやすい情報発信に努め、持続可能で信頼される経営を推進してまいります。

次に、**上下水道施設の整備と維持管理について**、水道水源保護の推進と下水道施設のストックマネジメント計画の見直しに取り組んでまいります。また、上下水道施設の適切な維持管理を行い、計画的な改築・更新に併せて、施設の耐震化を進めるとともに、市街地の雨水浸水対策を推進してまいります。

次に、教育文化部門が目指す、「**学びにより充実した人生を送ることができまち**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、人と社会とのつながりが感じられる「**学びあいの場**」や多種多様な「**学びの場**」の創出により、全ての世代が教育や文化によって心豊かに暮らすことができる環境づくりに取り組むものであります。また併せて、未来を担う子どもたちが伸び伸びと学校生活を送るために必要となる教育環境の整備に取り組むものであります。

教育文化部門における令和8年度の主な取組であります。 **学校教育基盤の充実**について、児童生徒が安全・安心でいきいきと学習するために必要な校舎等の補修・修繕工事の実施や、特別な支援を必要とする児童生徒に対応する特別支援教育支援員を始めとした、各種支援員を増員するなど、学校教育環境の整備を着実に進めてまいります。

次に、**生涯学習の支援**について、郷土を愛し未来を切り開く力に満ちた人づくりを目指し、各種団体等と連携しながら、新たな交流事業に取り組むなど、子どもたちの体験学習の充実を図ってまいります。

次に、**学校給食の提供**について、学校給食費に関する国の動きを注視するとともに、子育て世帯の負担軽減のため、引き続き食材料費の保護者負担分の一部を市が負担することにより、健全な発育に必要な食材を安定的に調達し、安全・安心で栄養バランスの取れる学校給食を提供してまいります。

次に、政策支援部門が目指す、「**新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門**」の実現に向けた取組について申し上げます。

この部門では、目指す姿の実現に向け、ヒト・モノ・カネ・情報といった

経営資源の確保と配分の最適化等を図ることにより、市域全体計画推進の基盤となる持続可能な行財政経営の堅持に取り組むものであります。また併せて、市民主体活動の後押しとなるよう、多様な媒体での積極的な情報発信、滝沢への愛着を育む取組を推進するものであります。

政策支援部門における令和8年度の主な取組であります。 **新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築について**、人材育成基本方針に基づき、職位に応じて求められる知識・能力を身に付けるために内部・外部研修を計画的に実施し、常に職員が学び、新たな知識を得ることのできる機会を設けてまいります。また、職員の仕事に対するエンゲージメントの向上、今後の市政運営に資する行政体制の構築について取組を進めてまいります。

次に、 **トップマネジメントの推進について**、令和10年度から始まる第2次滝沢市総合計画後期基本計画の策定に当たり、前期基本計画の振り返りを行いながら、後期基本計画の基本方針の作成に向けた市民との対話を開始いたします。

次に、 **広聴機能の充実について**、市民に市政の取組を直接説明し、意見交換する対話型集会「タウンミーティング」を市内3か所で開催するほか、子育て世代、働き世代などの各世代の市民の皆様や、各種団体、企業の皆様と「市長と話そう」を通年実施するなど、市民との対話の機会を拡充し、市政に対する市民の関心を高めながら、多様な意見を政策や施策に反映できるよう努めてまいります。

次に、 **市への愛着の向上について**、これまで市政と接点の少なかった市民の方々の参画を得て開催する「たきざわ自分ごと化会議」を通じて、主体的に地域課題の解決に向けた議論の場に関わっていただくとともに、小中学

生を始めとした活躍する市民や市の取組を積極的に発信し、「たきざわ」を誇りに思う機会を増やしながら進めてまいります。

次に、**行政DX**について、地方公共団体情報システムの標準化対応により改められた業務プロセスの再確認を進めながら安定運用を図るとともに、電子申請に合わせた業務の最適化及び効率化に取り組み、対象業務の拡大を検討してまいります。

以上のように、令和8年度は、市民に寄り添い、共感し、共に考え、共に行動しながら、「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向けて、総合計画に掲げた目標を達成するよう全力を尽くしてまいります。

そのためにも各政策等の推進に当たっては、部門間の連携を図るとともに、市民、議会、行政が一体となり、取組を展開することが、不可欠であると考えております。

議員各位におかれましては、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針の表明といたします。